

おうみネット

Ohmi Net

トピックス

環境問題…

あなたは何に関心がありますか？

おうみネット・コラム

「現代社会とNPO」第1回

スポットライト

おうみフリーマーケット実行委員会

ガラス工房エヴァグリーン—彦根市

グリーンコンシューマーサークル—彦根市

ネットワーク天気村—草津市

ネットワーク

伝言板 7月・8月情報

リレーエッセイ

Voice



NO. 6
1998・7

淡海ネットワークセンター

The Ohmi Network Center for Voluntary Organizations

環境問題...

あなたは 何に関心がありますか？



7月1日は「びわこの日」。環境は「未来の人たちからの預かりもの」であり、次の世代へいかに引き渡すか私達の取り組みが問われます。滋賀県は琵琶湖の水質を中心に環境への関心が高いといわれていますが、今回は、今ホットな身の回りの環境問題を集めました。

Q2 「グリーン購入って？」

A2 「植物を買うこと？」グリーン購入にいち早く取り組んでいる、滋賀県出納局エコオフィス係に詳しく聞いてみました。

グリーンとは環境配慮型の製品ののことを言います。それらの製品を優先的に購入することによって地球を守ろう、これがグリーン購入の基本的な考え方です。滋賀県では、「エコマーク」や「グリーンマーク」、「牛乳パック再利用マーク」などのついた、環境にやさしい製品の中から、『環境対応製品推奨リスト』を作成しました。再生紙のコピー用紙、封筒、付箋紙、食品トレーをリサイクルしたボールペンやシャープペンシル、焼却時に有毒ガスを出さない消しゴムなどがあります。県庁以外にも、県警や市町村にリストを配布し、購入を勧めています。また平成8年2月には行政・企業・市民等で構成するグリーン購入ネットワークに発起人として参加し、情報交換しながらグリーン購入の輪を広げ、現在加入団体は1300を越えました。グリーン商品は、価格面で多少割高になるときもありますが、自治体や政府、企業がより環境に望ましい製品を積極的に調達・購入することで、需要をつくり、技術開発や市場全体をも環境配慮型に誘導していけるのではとされています。

<エコマーク>



環境を汚さない、環境を保全できる環境型商品についています

<グリーンマーク>



古紙を再利用した雑誌、トイレットペーパー、学習帳、などについています

<牛乳パック再利用マーク>



牛乳パックから作られたトイレットペーパーやティッシュペーパーについています

最近では店頭でよく見かけるこれらのマーク。あなたも「グリーン購入」を始めてみませんか。なお滋賀県が作成した『環境対応製品推奨リスト』はネットワークセンターでも見るすることができます。

Q1 「ペットボトルはどうなるの？」

A1 「最近ペットボトルをよく見るけど、再利用できるの？」そんな疑問に答えるために守山市生活環境課で取材しました。

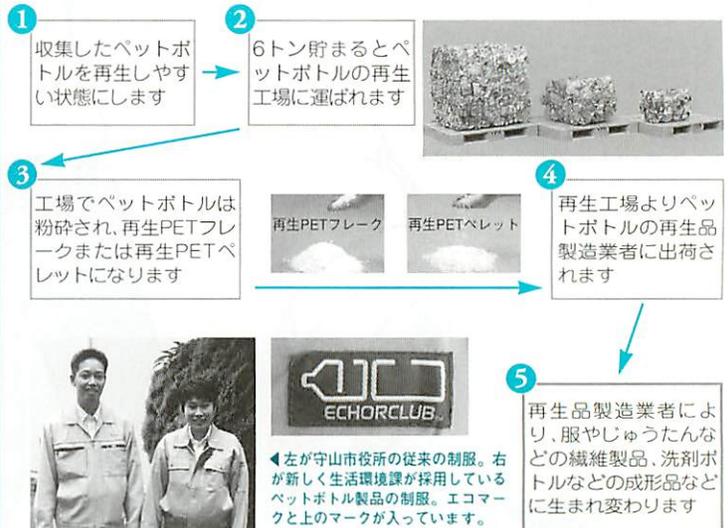
ペットボトルは軽くて、割れにくい便利容器であることから年々使用量が増えています。ペットボトルの分別回収、再資源化は今後の大きな課題です。回収する際、「なんでキャップをはずさなあかんの？」「洗うの面倒くさい」という声も聞きますが、



- 1.キャップを必ずはずす
- 2.ボトルの中はすぐに水洗いする
- 3.足で踏みつぶす

という3つのことは、ペットボトルをスムーズに再商品化するために欠かせません。容器と別の材質で出来ているキャップと、容器の中に残る汚れは共に不純物となり再商品化の妨げになりますし、容器をつぶすとかさが減り、無駄の削減になるからです。

3つの事項を経たペットボトルは収集され、次のような過程を経て再商品化されます。



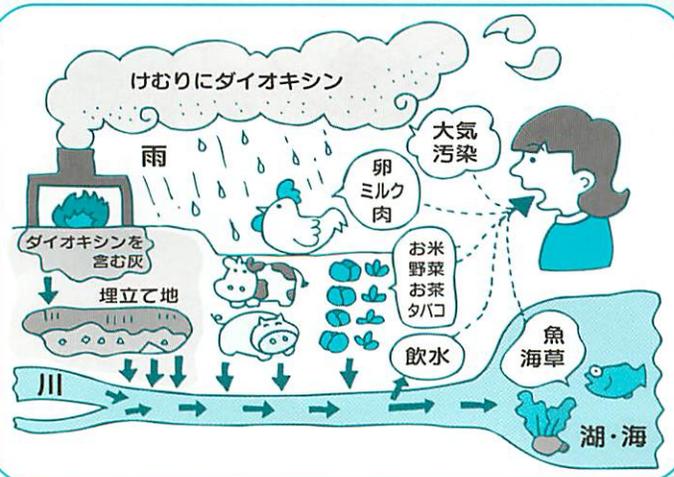
◀左が守山市役所の従来の制服。右が新しく生活環境課が採用しているペットボトル製品の制服。エコマーク上のマークが入っています。

こんな取り組みがあります

環境保全意識を高めるために、再生ペットボトルを使用したTシャツを販売しています!!

環境保全に取組んでいる「アイネットワーク」では、「リサイクル製品は割高だが、多くの消費者が優先して購入するようになれば価格も下がる。多くの人が関心をもつきっかけとなれば」と再生ペットボトルを使用したTシャツをフリーマーケットやロコミなどで販売。収益金を自然保護団体などに寄付し、資金の面で援助しようと活動しています。

お問い合わせは アイネットワーク TEL (077) 571-2250 FAX (077) 574-2281



「現代社会とNPO」

—第1回—

阪神淡路大震災とボランティア活動

市民活動やボランティア活動などが、現代社会にとって非常に重要な役割を担っていることが、今日広く認識されるようになってきました。今年の3月に国会において全会派一致で成立した「特定非営利活動促進法」は、市民活動団体等の非営利組織(NPO)が法人格を得やすくすることをとおして、こうした活動を支援することを目的としています。では、市民活動やボランティア活動は、現代社会においてどのような機能を果たしているのでしょうか。このことを「現代社会とNPO」という連載の中で考えてみることにしましょう。

さて、先進諸国の政策担当者たちが、現代社会を構成する重要な要素として非営利組織に注目を示し始めたのは、第二次大戦後の政治経済システムの転換が迫られた1970年代後半からです。しかし日本において、ボランティア活動等の非営利組織への注目が一気に高まったのは、「ボランティア元年」とも呼ばれた1995年の阪神淡路大震災以降でした。

阪神淡路大震災は、一方で、国や地方自治体の行政の側が大災害に対して事前に十分な準備をしておらず、また災害発生直後も非効率にしか対応できなかったのに対して、他方で、被災市民の側が自制心を失わず比較的秩序だてて行動し、全国的な市民ボランティアの活発な活動が重要な機能を果たしたことを明らかにしました。またその後の過程においても、多様な自主的市民団体の存在している地域において、復旧がスムーズに進行したことも事実でした。

確かに行政は当初の救援活動における非効率を改善し、ボランティア団体や地域の市民活動団体との連携をはかる方向へと舵取りを大きくかえましたし、防災対策への取り組みも進んでいるようです。しかし、地域社会を運営するには、行政のみでなし得ることにには限度があり、多様で多元的な市民の自主的な取り組みと、それを支える制度と、そうした活動と連携しながら施策を進めていくパートナーシップ型行政への転換とが必要なることを、阪神大震災の経験は私達に教えてくれました。また多くの市民が、自らの利害に直接関係のないことであっても、重要だと思われる社会的活動に積極的に参加する存在であることも改めて教えてくれました。

現代社会を構成するのは、政府と企業と家族(個人)だけではなく、市民活動やボランティア活動を担う非営利組織もその重要な要素であり、多くの市民は積極的にそれに参加しうる存在であることは、阪神淡路大震災の経験の私たちへの重要なメッセージなのです。

北村 裕明(きたむら・ひろあき)

滋賀大学経済学部教授
(財)淡海文化振興財団運営会議 座長

1953年石川県生まれ。1981年京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。京都大学博士(経済学)。滋賀大学経済学部教授。財政学、地方財政論担当。著書に「現代イギリス地方自治の展開」(共編著、法律文化社、1993年)、「現代の財政」(共著、有斐閣、1996年)など。



Q3 「地球温暖化って何? どうすればいいの?」

A3

「夏だけになっちゃうの?」地球温暖化とは、大気中に温室効果ガス(主にCO₂)が増え、地表からの熱が宇宙に放出されずに、地球をどんどん暖めることをいいます。このままでは、気温の上昇にともない、海面の上昇、気候の急変、珊瑚礁の島が海に沈むなど世界中で様々な問題が起こります。この最大の原因であるCO₂の排出量を減らそうと昨年、地球温暖化防止京都会議が開催されました。このCO₂削減にも関係のある取り組み・太陽光発電について宮川琴枝さん(湖北・市民共同発電所「さといも」プロジェクト実行委員長)に話をききました。



市民の共同出資によって石部町に設置された太陽光パネル (写真提供 中日新聞社)

石部・安曇川について湖北にも「きれいな電気の産直」市民共同発電所「さといも」プロジェクトが立ち上がりました。この「さといも」は作業所の名前「ぼてとファーム」にちなんでいます。化石燃料は地球温暖化や大気汚染につながり、水力発電は自然を大きく破壊しないと出来ません。ましてや原子力発電は放射能汚染が心配です。でも太陽光発電は再生可能でCO₂を排出しないクリーンなエネルギー源です。『私も環境を良くするため何とかしたいけれど、太陽光発電パネルを一人で設置するのは少し無理。』そんな思いの方、このプロジェクトに参加しませんか。ただ今賛同者を募集しています。出資金は一口20万円。発電量に合わせて年平均6,000円位の償還になる予定です。

お問い合わせは「さといも」事務局 月ヶ瀬義雄 TEL030-618-9269

Q4 「ダイオキシン」って何?」

A4

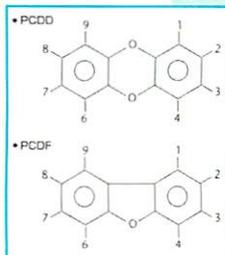
「なんで家でゴミを燃やしたらあかんの?」ゴミの焼却施設などで検出される「ダイオキシン」の問題は広くマスコミでも取り上げられています。その問題性や対策について滋賀県環境政策課にきいてみました。

一般にいわれる「ダイオキシン」は、ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン(PCDD)とポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)のダイオキシン類のことを指します。その毒性は、人工物質としては最も強く、世界保健機構(WHO)の国際がん研究機関(IARC)では、人に対する発がん性があるとしています。

ダイオキシンは主に廃棄物焼却場など、物を燃やすところから発生し、大気中に放出されます。そしてそれらは大気中の粒子などにくっつき、地面や川に落ちることで土壌や水を汚染し、食物連鎖を通して生物に蓄積されると考えられています。またダイオキシンは脂肪に溶けやすいので、脂肪分の多い魚、肉、卵などに含まれやすくなっています。(右図参照)

ダイオキシンを減らすため、平成9年12月から、大気汚染防止法や廃棄物処理法によって焼却施設の煙突から出るダイオキシンの対策が開始されました。滋賀県でも県内の焼却施設の調査を開始し、改善指導を行っています。ダイオキシン発生の詳しいメカニズムはまだよく分かっていませんが、ゴミの量が減ればそれを燃やすことによって発生するダイオキシンの量も減ります。塩化ビニル製品を含めて、ものを大切に長く使うこと、ゴミの分別、リサイクルを進めていき、ゴミの量を減らすことが重要です。またダイオキシンは不完全燃焼によってさらに発生しやすくなりますので、家でゴミを焼却するよりも、高温での焼却、排ガスの適正な処理ができる設備の整った焼却施設で処理することが望ましいと考えられています。

私達の未来のために、ダイオキシン問題を身近なところから大きなところまで、みんなで考えていきたいです。



ダイオキシン構造式

●おつみフリーマーケット
 実行委員会(O・F・A)は、阪神大震災復興支援活動の一環として市民主催のフリーマーケットを、奇数月に年間6回開催しています。収益金は直接関係する施設に贈っています。

この活動を継続させるのに、多くの市民の理

▲野洲川河川敷で行われたフリーマーケット。大盛況です。



▲会長の九里さん

解と協力がありました。いまでは、栗東町をはじめ、周辺自治体や企業からも注目される活動となっています。

中心となって事務局を切り盛りする九里学さんに、そのきっかけを尋ねました。

「ウツディクラブという12人の男ばかりの集まりがありました。将来いつ家を追い出されるかもしれん、そこで間伐材をつかった看板づくりなどして、ログハウスの資金を貯めていたんですよ。そこへ阪神大震災です。これを全て神戸市に寄付しました。もっとみんなで協力して出来ることはないかと思いました。消費税も5%にあがり、『もっと市民の視点で、もったいないから始めよう！』それが活動の始まりでした。」

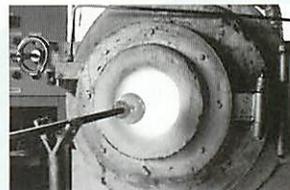
この5月末に開催されたフリーマーケットでは出店数2202店・来場者数1万8千人。その規模は拡大の一途。九里さん達の夢は、単なるフリーマーケットに留まらず、それぞれの想いで参加している多くの市民の夢の実現に向けたネットワーク



竜王町アグリパークにて▶

生活者の視点で行動する
おつみフリーマーケット(O・F・A)実行委員会
 〒520-3001 栗太郡栗東町東坂409-3
 会長 九里学 TEL (080) 386-0503

くり。純粹な心で通いあえる「郷」とでもいいでしょうか？
 ちなみに別途ウツディクラブはひそかに敷地を整備するに至ったとか。一体どこなのでしょう。



廃ビンから美しいガラス工芸品 夢のあるリサイクルに取り組む

ガラス工房 エヴァグリーン (彦根市)

●ガラスのリサイクルを通してモノづくりの楽しさを知ってほしい。ガラス工房エヴァグリーンはそんな目的で誕生しました。

きっかけは10年ほど前、この県「こみと生活展」

さんが「廃ビンのガラスからこんなきれいなガラス工芸が作れるの!」と感動したのが発端です。これまで、紙すきなどさまざまなリサイクルに携わってきた安澤さんですが、「これだ!」と直感したと言います。「リサイクルには夢が必要だからです。その点、ガラスには夢があります。焼き物は粘土から作りますが、ガラスは火の玉からつくります。それに、ガラスの持つ美しい質感とクリアな美しさ。丸いまるやかなフォーム。ガラスは人の心を魅了してやまないものです」

早速、安澤さんはガラス工芸を習いに愛知県岡崎市へ。3年間の「修業」を経て、一九九三年、夫の退職金で工房を建てガラス工芸の設備一式を購入しました。そして工房を広く一般に公開、廃ビンによるガラスのリサイクルを始めました。



原料は飲み屋さん、酒屋さんからもらった空きビンとメンバーが集めてきた化粧品ビンなどです。もちろん色付けには薬品を使わず、色

ガラスの廃ビンやリサイクル材料を使います。例えば、マンガンで発色させるときは乾電池を使う。など。会則も会報もなし。特定メンバーによる教室(月 三万円)のほか、体験教室(一個 二千円)もあり、公民館、婦人会、子供会などの団体参加が盛んです。

「リサイクルのガラスは溶かして多少固め。子供でも吹きながら細工が可能です。自分で廃ビンを割って、溶かして細工してもらいます。目の前でどんどん変身していくガラス……見る目が輝いていますよ!」

「銀河」と名付けた独自開発技術も生み出しました。ガラスの温度で溶ける針金を入れる技で、「一般のガラス職人でもまず作れないでしょう」と安澤さんは胸を張ります。



▲代表の安澤さん

ガラス工房 エヴァグリーン
 〒522-0007 彦根市古沢町55-1
 TEL (0749) 26-1316

多くの市民の夢を ネットワークする

ココロイキ

おつみフリーマーケット実行委員会(O・F・A)



境・福祉・ちづくり...内外でキラキラ元気に動されている方々にスポットライトをあて、その活動を紹介しします。

代表の吉田君 ▶



●「グリーンコンシューマーネットワーク」環境に配慮した消費者を増やそうという運動です。これまで、

同じ県立大学の環境サークルKの1部門として活動してきましたが、昨年12月に独立。4月の新入生勧誘も成果をあげて、2回生の吉田徹君を代表に部員は現在10名。メンバーのほとんどが環境科学部の学生とあって、大学の講義で学んでいることと現実の社会で起きているさまざまな環境問題とのギャ



▲サークルのメンバー

極的なアプローチの方法をあれこれ検討中。
まず8月1日には大学の交流センターホールで市民参加型のシンポジウム「彦根で考えるグリーンコンシューマー」を開催予定。

また市民、大学、彦根市、商業者の4者意見交換会の設定、お店の環境配慮度をチェックした彦根版買い物ガイドブックの発行や地域向け情報紙を出したいと意欲的で、環境熱心県民にふさわしい学生たちといえます。

「彦根市民の半数がグリーンコンシューマーになるのが目標です」と吉田君。緑に包まれたキャンパスから明るい未来が見えてきてつづです。

〈聞き手〉大山純子(編集者コラムニスト)

▲4月8日、彦根市内の小・中・高校の入学式に合わせて、環境に配慮した商品を列挙した「グリーン購入リスト」を新入生の保護者に配付。



みんな環境について考えよう 〜キャンパスからの提言〜

滋賀県立大学グリーンコンシューマーサークル(彦根市)



幼児から老人まで誰もが自由に集える場 人と自然に五感で触れて 自分自身を再発見! — ネットワーク天気村(草津市)



●子供が成長する上で大切なのは、老人・年少者などいろいろな人に触れ、さまざまな自然環境を「五感で感じる」こと。そのために作られたのがネットワーク天気村です。

代表の山田貴子さんは元中学校の教師。
「昭和50年代の半ば、偏差値による輪切り教育が強まり、子供たちの個性が消え始めるのを目の当たりにしました。夢を描いて教師になったのですが、その夢が実現できない状況になっていったんです。そこで、もっと自由に、夢の実現にかけた」と一九八七年に退職して始めたのがこの天気村です。



これからは、特定のテーマを持たず、教育、福祉、環境など、人にかかわるさまざまな分野の人・情報・場を必要に応じて「つなぐ」活動に力を入れていく方針です。

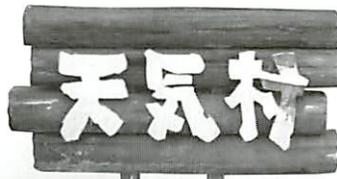


教養棟、ギヤラリー、喫茶店など各種施設を備えたこの「村」は、子供、大人、障害者、健常者：たれもが自由に集える場。多彩な活動に満ちています。
最初に誕生したのは「一歩塾」。幼稚園から中学生までの「遊び塾」です。好奇心旺盛なキャンギャイジたちが、工作や山歩きなど四季を通じた体験活動で本来の生き生きした姿を取り戻す場。
一歩塾での体験を通じて山田さんが痛感したのは「幼稚園児からでは遅すぎる」ということ。そこで2〜3歳の幼児を対象にした「こんべいとつ」が生まれました。
「コンクリートに囲まれた環境で育った幼児の中には表情のない子(サイレントベイビー)がいます。でも、川遊びなど五感で感じる遊びをさせると表情が

▼自然と親しむ ネットワーク天気村▶



ネットワーク天気村
〒525-0033 草津市東草津1-1-15
TEL (077) 564-7868



新沢としひこ 「ひまわりばたけコンサート」

日時●7月18日(土)PM4:30~7:00
場所●水口町 碧水ホール
内容●心がポカポカあたたまる歌とトーク
参加費●2,500円(前売り券のみ)
お問い合わせ先●0748-77-3862
ひまわりばたけコンサート
実行委員会/筒井

滋賀おっちゃん達の祭り'98夏 チャリティーコンサート 沖縄音楽の競演 大工哲弘&ツウダラズ・長岡孝雄アヤマバンド

日時●7月18日(土)開場PM4:00 5:00~8:00
場所●滋賀県大津市民会館大ホール
料金●前売 3,000円/当日 3,500円
お問い合わせ先●077-527-1173 滋賀おっちゃん達の祭り事務局(たべものやよもぎ内)

第9回 真夏の音楽会

日時●7月19日(日)10:00~21:00
場所●彦根城下の金亀公園 野外ステージ
内容●誰でも出演できる究極の音楽会
お問い合わせ先●0749-24-0916 まなつのコンサートをやりまっせ実行委員会/寺村

紙芝居講座

日時●7月23日(木)/8月8日(土)/8月25日(火)
PM1:00~3:00
場所●ファミリーサポートセンター 八日市
内容●日頃思っていることを紙芝居にします
参加費●300円
お問い合わせ先●0748-24-2670
人形劇サークル・コロボックル/雲川

ファリックスレングリ フルート リサイタル

日時●8月7日(金)
場所●草津アマカホール
内容●スイス出身のフルート奏者によるリサイタル 公開レッスン有(8/5)
お問い合わせ先●077-586-4657
レングリフルートリサイタル実行委員/松本

みんなで・大津まちなか・まちづくり展示会

日時●8月29日(土)・30日(日)
場所●丸屋町コミュニティホール
内容●3回のワークショップの成果を展示
お問い合わせ先●080-192-8797/阿部

現代川柳「弦」句会

日時●8月30日(日)PM1:00~4:30
場所●朝日新聞大津支局
内容●句会を楽しみます 参加費●1,000円
お問い合わせ先●0748-75-2659 川柳「弦」/平賀

一緒に考えませんか?

オオムラサキの羽化を観察する会

日時●7月5日(日)AM9:00~11:00
場所●近江町多和田「多和田会館」前
内容●国蝶オオムラサキの感動的な羽化の様子を観察します。
お問い合わせ先●0749-54-0440
近江町オオムラサキを守る会/樋口

“心の病いの理解と家族の関り方”

日時●7月8日(水)PM1:00~4:00
場所●近江八幡 滋賀県立女性センター
内容●講師/明神医師(県精神保健センター)を囲んでの座談会
お問い合わせ先●0748-72-2023 黒瀬

親と子の集いinZeZe

日時●7月17日(金)PM1:00~5:00
内容●学校外(家庭や地域社会)で広い意味の学びをする子と親の集まり。
場所●大津市生涯学習センター 401学習室
お問い合わせ先●077-524-4376 山元

母と子の健康を守るために エイズを知ろう!考えよう!

日時●7月18日(土)開場14:00 開演14:30
場所●近江八幡市 県立女性センター
日時●7月19日(日)開場13:30 開演14:00
場所●志賀町民ホール
内容●HI Voice劇場 演出OGG
講演「エイズから学ぶ愛と思いやりの心」
写真家 土橋正之氏
参加費●500円(手話通訳、託児室有)
お問い合わせ先●077-594-4436 (FAX兼)
滋賀エイズを考える会

茜トークサークル(死への準備学習のすすめ) 第43回例会「病をどう生きるか」パート3

日時●7月25日(土)PM1:30~4:00
場所●大津市生涯学習センター 参加費●500円
お問い合わせ先●077-522-6897
茜トークサークル事務局/木下

和泉葛城山ブナ森観察学習会

日時●7月25日(土)9:00~15:00
場所●和泉佐野市
案内●和泉葛城山ブナ森保護委員 田中正視氏
お問い合わせ先●0749-86-3270
湖北ブナ会事務局/堀江

「'98環境最前線」連続講座(全5回)

日時●第5回 7月25日(土)PM1:30~3:30
「マンガで『ごみと環境』を考える」
講師/高月紘氏(京都大学環境保全センター教授)
場所●ウイングパレスくさつ 301号室
参加費●500円
お問い合わせ先●080-191-4751 環境市民滋賀/平井

'98全国映達 映画大学

日時●8月21日(金)~23日(日)
場所●大津市
内容●全国から映画を愛する人々が集い、互いに交流を深めます
お問い合わせ先●077-534-6403 大津シネマクラブ

参加してみませんか?

ボランティア募集

活動内容●ケアセンター内の行事(納涼祭)を当日手伝って下さる方募集。
日時●8月9日(日)PM5:00~8:00
場所●BOHケア・サービスセンター
(大津市伊香立途中町字上野704)
お問い合わせ先●077-598-2133 栗本

転職フレンズに参加しませんか?

活動内容●転職族だからわかる・知っている情報交換をやっていきます
日時●毎月第2金曜日 AM10:00~11:30
場所●生涯学習センター
お問い合わせ先●077-527-5041 岡本

滋賀に移り住んで来られた人々と滋賀に新しい息吹を 起こそうとする人々のネットワーク

おりじなるねっと・しが(仮称)を みんなで始めませんか?!

活動内容●滋賀の素材を活用しながら、出会い・交流・自己実現・社会貢献などの場を設け、オリジナルな生活文化を咲かせましょう
お問い合わせ先●0748-37-1851 児島

彦根狂言会へのお誘い メンバー募集

活動内容●大蔵流狂言師木村正雄先生ご指導、年2回程発表
日時●毎月2回 火曜日 PM5:30~7:30
場所●彦根市東公民館 月謝●10,000円
お問い合わせ先●0749-37-4323 彦根狂言会/小澤

中国語入門講座の開講 受講生募集

内容●中国語を初めて習う人のためのコース
日時●7月8日(水)PM6:00~7:00
以後毎週水曜日 同時開
場所●県立女性センター
受講料●毎月4,000円
お問い合わせ先●0748-22-6079 (FAX兼)
楽しく中国語を学ぼうくらぶ/廣幡

中国語を学びながら 楽しく交流しませんか?

日時●毎週水曜日 PM7:00~9:00
場所●近江八幡市中小森町
受講料●1ヶ月4,000円
お問い合わせ先●0748-33-5775/小栗

住民と行政とのパートナーシップ型まちづくり 先進事例発表会・コンテスト開催!

参加募集内容●奮ってご応募ください
①取組事例(個別・全体、自薦・他薦)
②企画・運営メンバー ③参加希望者
日時・場所●9月開催予定。調整中
お問い合わせ先●0748-37-1851
実行委員会事務局/児島

彦根シネマクラブ 入会募集

映画好きの方はぜひ!
参加費●入会金 1,000円 月会費 1,000円
月会費で例会作品が鑑賞できます。その他特典有。
お問い合わせ先●0749-24-3116 折戸

第40回例会●
7月18日(土)①10:30~②14:30~「天の馬」
第41回例会●
8月29日(土)①14:30~②18:30~「プラス!」
場所●ひこね燦パレス

子育てネットワークどんぐり誕生!!

日時●毎月第4土曜日 AM9:30~(2~3時間)
場所●多賀町中央公民館
お問い合わせ先●0749-48-1800 田畑

手から手へ、バトンを渡し
ネットワークを広げましょう!!
次はあなたの元へバトンが
届くかもしれません…

淡海文化の底の深さ、
誰かの心に届けば…

大山純子さん(彦根市)/フリーライター

彦根を中心としたタウン誌「まいふれんど」の編集スタッフを12年、その後フリーになって3年。ローカルのいろんな情報が入ってくる自称「彦根のきき耳ずさん」。取材と出会いを重ねる毎に、淡海文化の底の深さを知る。自然、社会、そこに住む人々、めまぐるしく移り変わるものと、底を脈々と流れて変わらないもの。何を選び、何を残すか。面白いこと、すてきな人、感動したこと、これではアカンと思うことも含めて、人に伝えることが私の役割と思い原稿用紙のマス目をせつせと埋める。読みすてられるのがほとんどの私の仕事だけれど、川の底の砂金のように誰かの心にキラリと光ってくれるものがあれば、それでいい…。次は、大津市と近江八幡市で、中国帰国者の方などに対する「日本語教室」をされている小栗勝則さんを紹介いたします。

お楽しみに!!

小栗勝則さん
(近江八幡市)



ご意見やご感想、市民活動について思うことなど、
どんとんセンターへお寄せください。

「情報送付シート」で寄せられた意見です。

●子どもに関するネットワークをつくる足がかりにと、「淡海サロン」で子育てサロンを3回開催しました。参加者は、育児サークルに関する人たちが多く、その他少人数ではありましたが、教育研究が少しお互いの顔が見えてきたように思います。参加者の要望で今後も続けて行くことになりました。今後、子供たち、青少年の生の声を出していく場もつくられたらと思っています。

こんな活動をします。ご協力をお願いします。

湖北長浜一、000人献血運動
ひろげよう献血の輪運動リーダー
代表 田中正勝
ふるさとへの熱き想いを「血」にかえて、今年も1,000人献血運動のイベントがやってくる!!
10年前に、「命の尊厳」を献血運動に託して、毎年1,000人を超す、学生さん、会社の社長さん、主婦、会社員、公務員など多くのおみなさんが、ボランティア活動を通じて、毎年楽しい献血を進めてきました。10周年を感謝の気持ちをもって開催します。
日時●7月19日(日)
午前9時半～午後3時(受付)
会場●長浜築市西側駐車場
テーマ●「ありがとう! 献血の10年 ひろげよう 愛と夢としあわせを」

献血予約 ●
0749-916411-1070
事務局 長浜市保健センター
http://www.diva.or.jp/~fuji-bin/donation.htm
イベント ●
素焼きタイル1,000人描画、燃える親子ペア二輪車競争、ハイパーヨーヨー選手権、ミニ4駆タイムトライアル、キヤラクターぬいぐるみ抽選会、手品、ギター演奏、子ども免許証作製、かき氷、ふわふわ風船ヨーヨー祭りなど、楽しいイベントやプレゼントも用意しています。いつもの場所の、いつもの時間で、また今年も熱くなるだろう夏の始まりに、スタッフ一同お待ち申し上げております。

伝言板

9月~10月の伝言板
情報募集中

7月→8月

日時・場所・問い合わせ先等を明記の上、FAXまたは郵送でセンターまでお寄せください。(8月10日締切です)

一緒に楽しみませんか?

七夕祭 (国際親善のための集い)

日時●7月6日(月) PM7:30~9:00
場所●栗東町中央公民館
内容●日本語で短冊に願い事を書き切り紙などと共に笹に飾ります
お問い合わせ先●077-552-3340
国際親善のための集い/北吉

「七夕に願いをこめて」 shall we(シャルウィ)ダンス

日時●7月7日(火) 9:30~13:00
場所●長浜ドーム 会費●3,800円
お問い合わせ先●0749-65-3366
長浜市民交流センター
主催/アクト21企画、エルダー21、長浜市民交流センター

びわ湖音景色(サウンドスケープ)

日時●7月11・12日(土・日)
場所●朽木・朝日の森自然研修所
内容●音のワークショップ
参加費●大人16,000円
高校生以下13,000円
お問い合わせ先●077-567-8998
滋賀県おやこ劇場協議会

オープンハウス開所!!

日時●7月13・27日、8月3・17・31日
10:00~17:00の間ならいつでも
場所●湖南学園はれの家内
内容●ワイワイガヤガヤしませんか?
お問い合わせ先●077-533-0312
しみんふくしファミリーサポートセンター大津

7月の探鳥会お花畑と野鳥

日時●7月19日(日) 9:30集合
集合場所●JR関ヶ原駅前
参加費●100円(傷害保険料)

平成10年度 三島池自然観察会

日時●第3回 夏の昆虫採集
7月25日(土) AM9:00~12:00
場所●三島池ビジターセンター
指導●講師と鴨と螢グループ
お問い合わせ先●0749-55-0804
滋賀県野鳥の会/口分田

自然への気づきを体験しよう!

日時●7月20日(月) 10:00~15:30
場所●甲西町青少年自然道場
参加費●未定
内容●ネイチャーゲーム体験、自然との遊び方研修会など
お問い合わせ先●077-579-6659
比叡山ネイチャーゲームの会/辻田

第12回 集まれ!!おいしい水探検隊

日時●8月2日(日)
場所●米原町醒井
内容●ウォークラリー、鮎つかみなど
参加費●
小学生 3,500円/5・6才 2,000円
5才未満 500円/保護者 3,000円
お問い合わせ先●0749-52-1551
米原町役場・企画調整課内「おいしい水探検隊」事務局

第6回 全国バイアスロン 競技飯道山大会

日時●8月15日(土) 9:30~15:30
場所(コース)●水口町立貴生川小学校グラウンド、及び飯道山登山道の周路約15km
競技参加料●1チーム 4,000円
お問い合わせ先●
0748-63-2657 (FAX兼)
「飯道山を考える会」事務局内
全国バイアスロン競技飯道山大会実行委員会

こんなことしま〜す!

DIVA with 谷川俊太郎 「よしなうた」

日時●7月18日(土) PM6:30~
場所●大津市生涯学習センター
内容●音楽と詩の朗読のタペ
参加費●3,200円
お問い合わせ先●077-567-8998
滋賀県おやこ劇場協議会

最初の1歩を応援します!

「淡海サロン」 主催者募集

「〇〇地域の活性化を考えたい」「△△川流域の環境を考えたい」「何か新しいボランティアグループを立ち上げたい」といったような自主的な社会参加活動に新しく仲間を募って取り組もうとされている方はいらっしゃいませんか? そんな県民の皆さんの最初の1歩を応援するのがこの「淡海サロン」です。淡海ネットワークセンターでは平成10年度「淡海サロン」の主催者を募集しています。

- テーマ** 自主的な社会参加活動に関するものであれば内容は問いません。
- 参加者** 主催者が広く募集して下さい。
※既存の団体等がその構成員を対象に開催するものは該当しません。
- サロンのイメージ** 20人程度の参加者がゲストを交え、自由楽しく意見交換でき、新しい取り組みの第1歩となる場。
- 支援の内容** 会場費・ゲストのお礼・開催案内のピラ作成の費用をセンターが負担します。※負担は開催1回あたり10,000円で、3回分30,000円が上限です。またゲストの紹介などもいたします。
- 申込み方法** 淡海サロン企画書等を添えて、申込書を平成10年7月31日までに淡海ネットワークセンターまでご提出下さい。なお今年度の採用数は20件を予定しています。詳しくは淡海ネットワークセンターまで。

淡海ネットワークセンターでは、県内でまちづくりや環境保全、福祉など様々な分野で市民活動をされている団体のデータベースを作成し、現在約650団体が登録しています。また、このデータベースをもとに、年に1度、登録されている団体の活動内容等を掲載した冊子「淡海NPOデータファイル」を発行しています。この冊子は、登録団体、図書館、社会福祉協議会、マスコミなどに配布し、県内の市民活動の情報発信やネットワークづくりにご利用いただいています。センターでは、データベースへの登録を随時受け付けています。登録ご希望の方はセンターまでお問い合わせください。

淡海ネットワークセンターブックレットNo.4発行!

3月15日に開催した「おうみ市民活動交流会」の記録が、淡海ネットワークセンターブックレットNo.4としてまとまりました。NPO政策研究所代表幹事、木原勝彬さんの基調講演「これからのNPO経営」、人・資金・企画について話し合われたテーマ別の分科会の内容などを収録しています。ご希望の方は送料として200円分の切手を添えてセンターまでお申し込み下さい。なお、昨年の「わくゼミ」の講義録等をまとめたブックレットNo.1～No.3も多少残部がありますのでこちらの方もどうぞ。

ワークショップを体験しよう!!

淡海ネットワークセンターでは、市民活動のより一層の広がりを支援するために「わくわく市民活動ゼミナール」を開催しています。(各回定員50名)

◆第4回 ワークショップで市民活動の広報紙をつくろう

講師 ● 赤須治郎さん (赤須企画事務所代表)
日時 ● 8月22日(土) 13:30～5:00 場所 ● 滋賀県立女性センター

◆第5回 ワークショップ「黒壁のまちづくり」

講師 ● 山本克彦さん (生涯学習研究所代表)
ゲスト ● 笹原司朗さん (株黒壁代表取締役専務)
日時 ● 9月5日(土) 10:00～4:30 場所 ● グリーンホテルYES長浜

第4・5回の
参加申込み受付は
8/11(火)までです。
参加ご希望の方は
センターまで
お早めに。

- 第2回 NPOのための資金獲得術 (講師 ● 早瀬 昇さん)
日時 ● 7月10日(金) PM6:30～8:30 場所 ● つがやま荘ロイヤルホール
- 第3回 欧米のNPOの事例に学ぶ (講師 ● 跡田 真澄さん)
日時 ● 7月24日(金) PM6:30～8:30 場所 ● 滋賀ビル9階 鈴鹿の間

当日参加もOK!!

情報BOXを利用してみませんか?

淡海ネットワークセンターには分野を越えて手軽に交換出来る情報BOXがあり、現在約75団体が、相互に会報やイベントの告知など様々な情報を受発信されています。あなたの団体も情報BOXを利用しませんか? 非営利の社会参加活動団体であれば無料で登録できます。ただし送付を希望される方は、送料6ヶ月分の1,920円分の切手を添えて申し込みください。

編集後記 今回の環境問題特集はいかがでしたか?

今回は「おうみネット」編集ボランティアの方をはじめ、たくさんの方に取材や編集に協力いただきました。本当にありがとうございました。最近「スポットライトに載せてほしい」「こんな人たちがいるよ」と「おうみネット」へ情報を送ってくださる方が増えてきました。読者の皆さんが

この「おうみネット」を支える大切な特派員さんです。皆さんからの声を心よりお待ちしております。次号の特集はまもなく始まるNPOフォーラムin関西会議の様子の体験レポートです。応募して下さった3人の方の熱意あふれるレポートです。ご期待ください。



淡海ネットワークセンター

(財) 淡海文化振興財団 / 〒520-0806 大津市打出浜14-15

TEL 077-524-8440 FAX 077-524-8442
http://www.biwa.or.jp/~ohmi-net/
E-mail ohmi-net@mx.biwa.or.jp

右記の日時に
ご利用いただけます。

月曜日と祝日の翌日を除く毎日(12/29～1/3を除く)
火～金曜日/9:00～19:00 土・日曜日、祝日/9:00～17:00

